

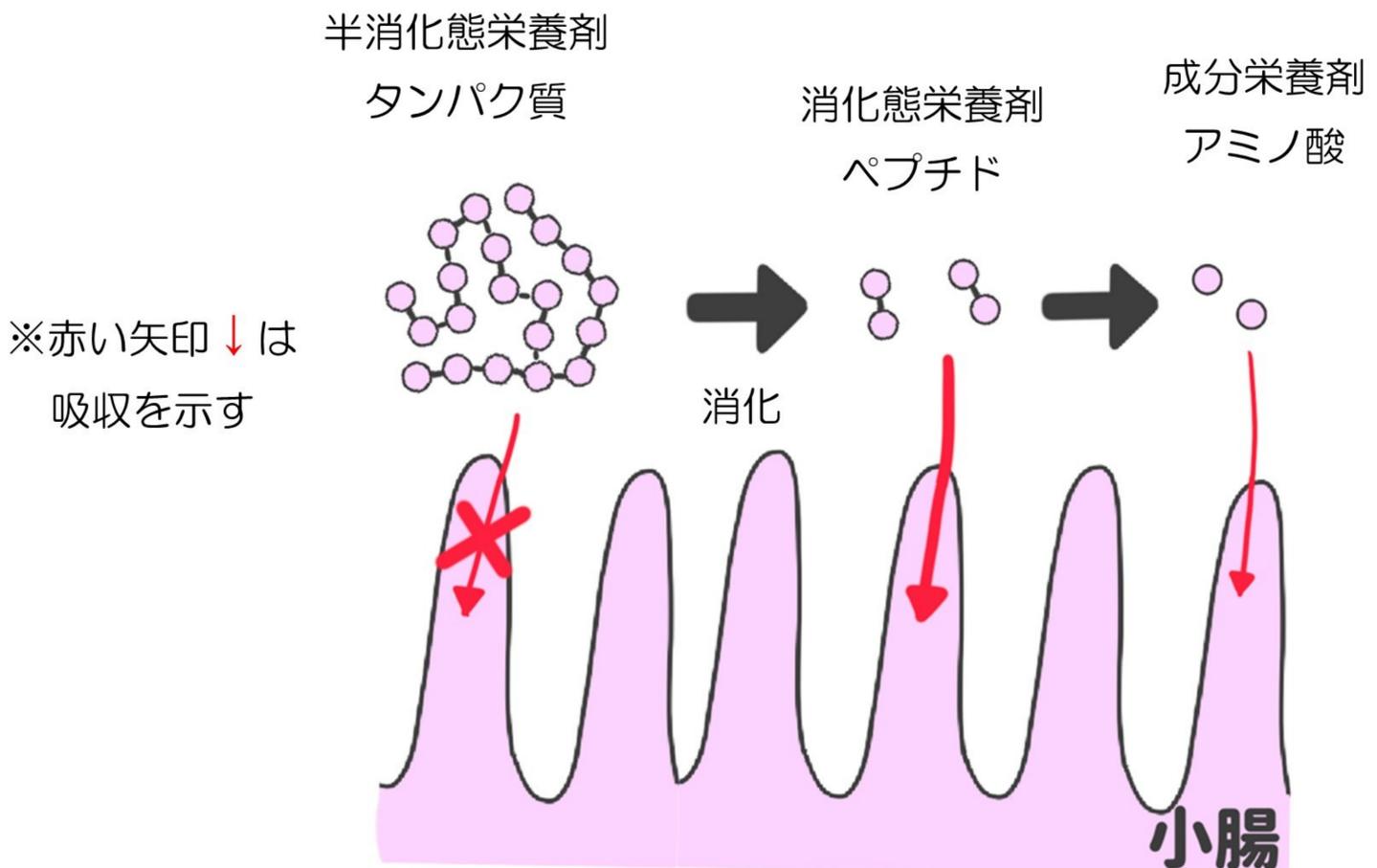
解説

経腸栄養剤は窒素源によって

成分栄養剤、消化態栄養剤、半消化態栄養剤

に分類される。

| | |
|---------|--|
| 成分栄養剤 | 全成分が化学的に明らかな成分から構成 窒素源はアミノ酸のみで構成 浸透圧が高い 脂肪含量が極めて少ない 消化・吸収障害やクローン病、周術期などに使用 |
| 消化態栄養剤 | 窒素源がアミノ酸やジペプチド、トリペプチドからなる 浸透圧は成分栄養剤よりは低い 脂肪の含量が少ない製品もある 適応は成分栄養剤と同様 |
| 半消化態栄養剤 | 窒素源はタンパク質（多くはカゼイン）からなる 脂肪も必要量が含有 主に消化管の安静を必要としない状態に使用 |



point

小腸でのペプチド吸収速度はアミノ酸よりも速いと言われている！

